



ヨコハマトリエンナーレ2017 サポーターズサロン 「いつも渡る橋の名前を割とみんな知らない。」 9月29日(金)開催

市民ボランティアによる横浜トリエンナーレのサポーター「ハマトリーツ！」は登録数1,480人(9月14日現在)で、横浜トリエンナーレを盛り上げるための活動を行っています。この度、「ハマトリーツ！」の活動の一環として、9月29日(金)にサポーターズサロン「いつも渡る橋の名前を割とみんな知らない。」を開催します。横浜のまち全体に広がるアートプログラムについて知ること、ヨコハマトリエンナーレ2017と併せてよりアートをお楽しみいただけると思いますので、ぜひこの機会にご参加ください。

開催概要

全7回開催予定のサポーターズサロン。今回のサポーターズサロンでは、ヨコトリ2017のテーマの一つ「接続」ともリンクする、Creative Waterwayの全体像についてご紹介します。

また、「Creative Waterway」の参加作家であり、創造界隈拠点の一つである黄金町のレジデンスアーティストの阿川大樹氏が登壇します。小型船で作品を聞きながら大岡川をめぐるアートクルーズのプログラム《Bridges 川という舞台をめぐる小旅行》が間もなく開始となる阿川氏の、自身の作品や横浜と水辺にまつわるストーリーについてお話を伺います。

- 日時: 2017年9月29日(金) 19:00~21:00(受付18:30~)
会場: 富士通エフサス みなとみらいInnovation & Future Center
(神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3-13b棟9階 クイーンズタワーA)
登壇者: 阿川大樹(小説家)
佐脇三乃里(黄金町エリアマネジメントセンターアシスタントディレクター)
参加費: 無料
定員: 100名(先着順、事前申し込み) ※サポーター登録がなくても、ご参加いただけます。
お申し込み: 以下のWEBサイト申し込みフォームをご利用ください。
<http://www.yokotorisup.com/event/2017/09/news-776.html>
主催: ハマトリーツ!(横浜トリエンナーレサポーター)
共催: 横浜トリエンナーレ組織委員会、横浜トリエンナーレサポーター事務局

阿川大樹(あがわたいじゅ)

1954年、東京生まれ。東大在学中に野田秀樹らと劇団「夢の遊眠社」を創立。座付き作曲家となる。のち、半導体技術者を経て、2005年、『覇権の標的』で小説家デビュー。2009年より横浜黄金町のアーティスト・イン・レジデンスに参加。小説『横浜黄金町パフィー通り』の他、音楽・映像作品も発表している。小説最新作『終電の神様』は10万部突破。



「Creative Waterway -川と海でつなぐ創造の拠点」

「Creative Waterway -川と海でつなぐ創造の拠点」は、横浜都心臨海部の海や大岡川周辺の水辺を舞台に、様々なアート作品を展示し、クリエイティブな活動を行う6つの「創造界隈拠点」を、川と海でつなぐ、屋外展示型のアートプログラム。

会期: 2017年8月4日(金)~11月5日(日) ※作品によって展示期間は異なる

会場: 横浜と新臨海部(大岡川~象の鼻パーク周辺)

WEBサイト <http://www.creative-waterway.net>

【問い合わせ先】ヨコハマトリエンナーレ2017広報事務局(株式会社プラップジャパン: 桑間、横澤)

E-MAIL: pr_yokotori2017@ml.prap.co.jp TEL 050-5243-8863 (03-4580-9110)

【横浜トリエンナーレ組織委員会 お問い合わせ先】担当: 西山、高橋

E-MAIL: press@yokohamatriennale.jp TEL 045-663-7232 (平日10:00~18:00 第2・4木曜日を除く)